

授業概要一覧 健康福祉学研究科博士後期課程

授業科目		授業概要	
基層講究	健康福祉学講究	人間を身体的・社会的に健康な状態に維持し、「生命と生活の質」の向上を目的とする健康福祉学を、理論的・実践的側面から講究します。健康福祉に関する課題は複雑多岐にわたっているため、健康福祉学を構成する多様な理論的背景と研究方法について論じるとともに、地域でのフィールド調査に基づく演習等を通じて、人々の「生命と生活の質」向上に向けた総合的なアプローチ方法を習得します。	
	発達心理学講究	現代まで引き継がれるさまざまな発達理論を学習し、発達理論とその展開に関する理解を深めます。また、生涯発達心理学の理解を深め、乳幼児期から老年期に至るまでの各発達段階の特徴を学習した上で、それぞれの発達段階に応じた適切な支援について学びます。	
	身体運動科学講究	日常生活における「身体運動・スポーツ」の実践は、生活習慣病の予防、体力の維持、精神的ストレスの解消等を通して心身の健康づくりに寄与します。本講究では、生命と生活の質を高めるための「身体運動・スポーツ」の役割と課題について文献を講読しながら探究します。	
	臨床心理学講究	臨床心理学における査定法(アセスメント)を理解します。その上で、さまざまな職種が現場で出会う事例について、臨床心理学視点に基づき、その理解や支援方法について考えを深めます。	
	精神保健学講究	人の心の健康を維持するために、個人だけでなく、集団、組織、地域、社会に関する問題について考える視点を学びます。家庭、学校、職場、地域などにおいて、精神的に健康であるために支援者が持つ多様な視点、具体的対応について理解を深めます。	
	健康福祉倫理学講究	医療や福祉などの現場における患者の権利、専門職の役割など倫理に関する基礎的考え方を学びます。また実際の支援の場で起こりえる倫理問題について取り上げ、その考え方や多様な視点について学びを深めます。	
専門講究	健康福祉理論系	社会福祉学講究	社会福祉学の研究領域対象としての、福祉哲学、社会福祉発達史、社会福祉本質論争、福祉政策論、社会福祉運動論、福祉経営論、社会福祉実践論について解題し、現代社会における貧困、社会的包摂と排除、高齢者・児童・障害者虐待など社会福祉問題を科学的に解明する方法について講義します。
		社会保障学講究	年金制度と並んで人々に健やかで安心した生活を保障する重要な柱であり、健康福祉を支える制度的基盤である医療と医療保障制度について学びます。具体的には、保健・医療提供体制・医療保険という医療保障の3層構造をpushした上で、医療と医療保障について法的・制度的分析、経済・財政的分析など多角的な視点から日本の現状を理解し、併せてその抱えている諸課題と解決に向けた選択肢についても学びます。
		看護科学講究	対象・場面・状況に依拠しつつ変化する看護活動を科学として評価できる方法等を理解し、看護領域に特化した研究においてどのように活用できるかについて検討します。
		健康栄養学講究	健康な生活を維持するための栄養学的なアプローチは、栄養素欠乏が問題であった時代に比べ、多様化、複雑化しています。そこで、この講究では現在問題となっている健康・栄養上の課題をいくつか取り上げ、基礎栄養学・栄養生化学・食品機能学的な見地に立ち、関係論文・資料の検索・理解を通して解釈し、どのように対処・解決していくのが最も適切かを検討します。
	健康福祉実践・ケア系	地域ケア論講究	地域福祉、地域看護、地域保健、公衆栄養に関する諸理論とケアに関する諸理論を統合しながら、わが国の現在の高齢者施策の中心である地域包括ケアシステムの構築の方法について考察を行います。さらに、例えば在宅緩和ケア、インフォーマルケアの有効性と限界、限界集落の村納めといった具体的な諸問題について解決を図っていく政策提言が可能となるような研究能力を涵養します。
		地域社会学講究	現代の地域社会における産業構造の変化や、都市と農村の格差問題、雇性格差問題などの諸課題に接近し、地域の構造や機能を多角的に分析します。また、地域特有の文化を理解し、グローバルな視点で地域社会の課題を解明していく方法について具体的な事例を挙げながら解題します。
		臨床看護学講究	臨床で展開されている看護活動の効果や成果に関して科学的な究明を行うために、臨床看護(臨床的介入)の機能について、論文レビューから検討します。同時に、看護実践する看護者の予測・診断・予防・介入といった臨床能力がどのように維持・発展しているのかを検討し、健康福祉学における看護の役割・機能について考察します。
		臨床栄養学講究	「根拠に基づく医療(EBM)」は、最新最良の証拠を把握した上で、一人ひとりの患者に特有の症状や意向(個別性)、医療従事者の経験や医療施設などの環境(状況)を考慮した医療を行うための一連の行動指針です。この授業では、臨床栄養学分野の文献のシステムティック・レビューを行い、EBMの方法と考え方を身につけます。
		健康福祉学特別研究	社会福祉・看護・栄養の領域を横断しつつ、独自の分析視角・方法に基づく研究を自立して行える能力を身につけます。また研究の成果を論文他、国内外の学会等で公表し、他者からの意見等を批判的に内省しつつ、自己の研究課題を追求し深化できる能力を身につけます。
特別研究	健康福祉学特別研究	社会福祉・看護・栄養の領域を横断しつつ、独自の分析視角・方法に基づく研究を自立して行える能力を身につけます。また研究の成果を論文他、国内外の学会等で公表し、他者からの意見等を批判的に内省しつつ、自己の研究課題を追求し深化できる能力を身につけます。	